会 議 録

会議の名称	平成28年度 行田市防災会議
開催日時	平成29年2月13日(月) 開会：10時00分・閉会：10時20分
開催場所	行田市役所 3階305会議室
出席者(委員) 氏名	工藤正司 平野勝由 阿部恭之 有山達也 天笠隆之 園田誠司 倉林修身 川島将史 藤井宏美 島田 徹 風間祥一 小林乙三 竹井英修 藤原直樹 小林 修 森 郁子 杉山晴彦 西浦亮二 吉田善作 細山田 真 三宅大介 白子寿仁 島澤孝雄 岩田雅之 本田 剛 木村 誠 小池利昌 中村洋子 井上文子
欠席者(委員) 氏名	鈴木紀之 高野英男 城田和之 飯塚稔文 川嶋賢司
事務局	五十嵐課長、田中主幹、松本主査、小峰主任
会議内容	[報告事項] 報告第1号 本市の災害対応について 報告第2号 今年度の防災対策及び今後の取り組みについて [議案事項] 議案第1号 行田市地域防災計画の改正について
会議資料	(資料名・概要等) ・行田市防災会議資料
その他必要 事項	傍聴者2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 工藤会長 事務局 工藤会長 事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長あいさつ）</p> <p>議題の進行につきましては、行田市防災会議規程第5条第2項の規定により、会長が議長を務める事となっている。</p> <p>3 議 事（議長：工藤会長）</p> <p>（1）報告事項</p> <p>報告第1号 本市における災害対応について</p> <p>資料1「平成28年度災害時の出動・待機状況一覧」を基に地震や大雨、台風などによる出動・待機体制の状況を報告した。</p> <p>本市では地震が発生した場合の配備体制として、震度3で予備体制とし、危機管理監をはじめ、防災安全課防災担当職員が参集することとしている。</p> <p>また、台風などの風水害における配備体制として、警報が発令された場合や台風が接近すると予想される場合に待機体制とし、危機管理監をはじめ、防災安全課防災担当職員や各関係課で参集することとしている。</p> <p>本年度これまで出動・待機した事案は、地震に関するものが6件、台風などの風水害に関するものが4件、合計10件であった。</p> <p>報告第2号 今年度の防災対策及び今後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度実施事業一覧について <p>資料2「平成28年度 実施事業一覧」を基に平成28年度実施事業を報告した。</p> <p>例年実施している事業のほか、新たな取り組みとしては、11月10日（木）に実施した「職員非常参集訓練」であるが、いつ起こるかかわからない地震に対して、市職員としての意識高揚を図るために、午前6時25分、市内での震度5強の地震発生を仮定し、消防職以外の主幹級以上の職員125名を対象に実施した。</p> <p>「備蓄食料のアレルゲンフリー化」では、避難所生活における食の安心安全のために、アレルギー物質を含むビスケットを、アレルギー物質を含まないライスクッキーへ変更し、全ての備蓄食料のアレルゲンフリー化が、3月上旬に完了する見込みである。これにより避難所での食料配布が円滑に行えるようになるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時応援協定一覧について <p>資料3「災害時応援協定一覧表」を基に応援協定の締結状況を報告した。</p> <p>現在、本市が災害時応援協定等を締結している民間企業は、64社である。昨年2月の防災会議以降に締結した応援協定は、No.55以降の10件である。</p> <p>次に公共団体との災害時応援協定の締結状況は、現在26</p>

団体であり、昨年2月の防災会議以降に締結した応援協定は、No.26の三郷市となっている。

・自主防災組織（設立数及び設立割合）について

資料4「自主防災組織（設立数及び設立割合）」を基に自主防災組織の設立状況を報告した。

本市でも、地域の防災力の要として、自主防災組織の設立を推進している。平成29年1月1日現在の設立自治会数は、186自治会中185自治会であり、設立割合は、99.46%である。

・今後の取組みについて

資料5「今後の取組み」を基に予定している事業を報告した。来年度の事業として、現在6つの事業を予定している。「行田市自主防災組織補助金交付制度改正」は、自主防災組織への資機材購入補助金について、平成17年度に制度を創設し、各組織1回限定の交付を開始して、10年が経過した。制度の周知を継続しているが、未だ約35%の組織が未交付となっている。既に補助金を交付した組織から資機材購入の追加補助の要望が多数寄せられているため、制度の見直しを予定している。これにより、さらなる地域防災力の強化を図るものである。

事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。

（委員からの意見や質問なし）

報告第1号及び報告第2号について、ご了承いただきたい。

（2）議案事項

議案第1号 行田市地域防災計画の改正について

資料「行田市地域防災計画 新旧対照表」を基に説明した。今回の改正理由は、大きく分けて3つである。1つ目は、国により「避難情報」の名称変更がなされたことに伴うもの、2つ目は、熊谷地方気象台からの提案によるもの、3つ目は、字句修正等の軽微な変更により見直しを行ったものである。

具体的には、「避難情報」については、昨年8月の台風10号による岩手県の高齢者施設での被災の教訓を踏まえ、国により避難情報をわかりやすくするための名称変更が実施されたものである。避難情報のうち初期の段階で発令する「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」とし、避難行動に時間を要する高齢者等の「要配慮者」が避難を開始しなければならないということ、よりわかりやすく変更したものである。中期の段階で発令する「避難勧告」は、名称の変更はない。避難情報のうち、特に緊急を要する場合に発令する「避難指示」は「避難指示（緊急）」とし、緊急であることがわかるよう名称を変更したものである。本市としても、国と同様に名称を変更するものである。

次に、熊谷地方気象台からの提案によるものの一例を挙げると、竜巻注意情報については、発表単位が、昨年12月に

工藤会長

事務局

<p>工藤会長</p>	<p>変更となり、これまでの都道府県単位での発表から天気予報と同様の単位での発表に変更となったことにより熊谷地方気象台から提案があった。これにより、本市の地域防災計画の内容を修正するものである。</p> <p>次に、字句修正等の軽微な変更の一例を挙げると、はん濫について、漢字に修正したものである。</p> <p>今後は、修正後の内容で、市報やホームページなどで市民の皆様への周知・啓発を行っていく。</p> <p>事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問なし)</p> <p>議案第1号について、ご了承いただきたい。</p> <p>本日より予定していた議事については、全て終了した。 以上で行田市防災会議を終了する。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 閉会</p>